

M ニセ電話気づかせマイスター 第一号

声掛け等によりニセ電話詐欺の被害を2回以上阻止したニセ電話気づかせ隊の方を「ニセ電話気づかせマイスター」と認定し、「認定証」と「マイスターバッジ」を交付しました。



●第一号に認定された福岡銀行女性職員の方に聞きました

《被害を防ぐために大切なことは？》

自分一人で被害を防ぐことにこだわらない事です。私には正直に話してくれない方もいるので、同僚や警察、家族の方と協力することが大切です。

《普段から心がけていることは？》

とにかくコミュニケーションを取る事です。お客様が話しやすいように雑談を交えて話を聞き、騙されていないかを確認しています。

ニセ電話気づかせ隊の啓発活動物品を提供します。

●ポスターやチラシなど

ポスターを掲示したり、チラシやカードを配布したりして、被害に遭わないように注意を呼びかけましょう。



●動画データ

広報用動画を待合室等のテレビや街頭ビジョン等で放送し、注意を呼びかけましょう。



15秒動画1種

30秒動画4種(計120秒)

広告物については現物を、動画についてはデータをお近くの警察署で提供いたします。必要な方は、警察署の生活安全課に電話で在庫を問い合わせしてから、受け取りに行ってください。

さまざまな活動を通して多くの方にニセ電話詐欺のことを知ってもらい、福岡県からニセ電話詐欺を根絶しよう！

防犯情報配信中

福岡県警察では、ニセ電話詐欺やニセ電話気づかせ隊の活動をメールで配信しています。

※QRコードを読み込むことが出来ない場合は、福岡県警察のホームページからも登録が可能です。
※登録料は無料ですが、通信料が発生する場合があります。

問い合わせ先 福岡県警察本部生活安全総務課 ☎092-641-4141 (内線3044)

ふっけい安心メール

「ふっけい安心メール」は、県内の事件情報や防犯情報などを配信するサービスです。

<https://www.police.pref.fukuoka.jp/mailmg/>



福岡県警察シンボル・マスコット「ふっけい君」



ニセ電話気づかせ隊通信

発行編集

福岡県警察本部
生活安全総務課

〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号
TEL / 092(641)4141 (内線3025、3044)
ホームページ / <http://www.police.pref.fukuoka.jp>

第1号

ニセ電話気づかせ隊発足

～福岡県からニセ電話詐欺を根絶しよう～



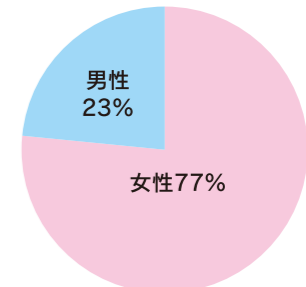
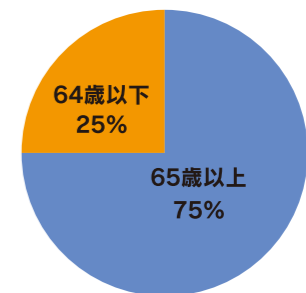
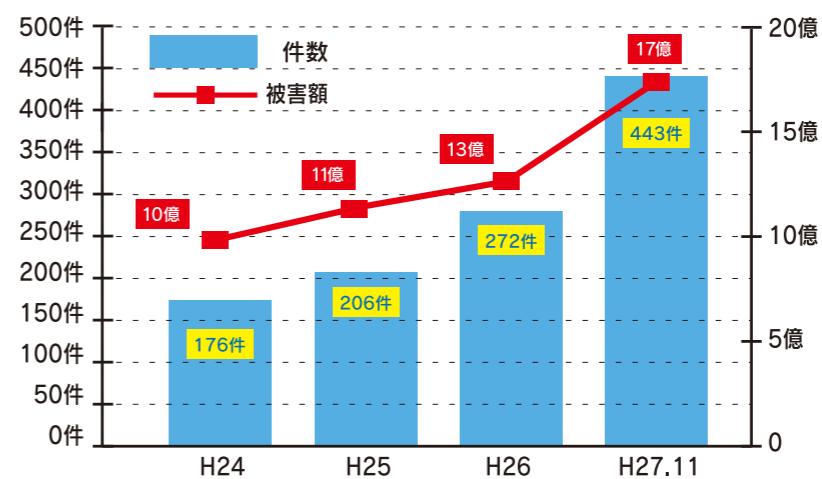
ニセ電話気づかせ隊
推進委員会委員長
福岡県知事
小川 洋



●ニセ電話気づかせ隊ポスター

平成27年6月15日の「ニセ電話気づかせ隊」発足以降、事業所や防犯ボランティア団体など、11月末現在で、8172団体が登録され、ニセ電話詐欺の被害阻止活動に取り組んでいただいています。声かけなど、これまでの活動により、11月末現在で、454件、約10億3千万円の被害が未然に阻止されました。皆さま一人一人の活動が、ニセ電話詐欺の被害を防ぐ大きな力となっています。今後も、この「ニセ電話気づかせ隊」の輪を広げ、ニセ電話詐欺の根絶に向けて互いに連携し、力を合わせて取り組んでまいりましょう。

福岡県のニセ電話詐欺の被害状況



1日の平均被害額 約520万円



ニセ電話詐欺の手口と対策

オレオレ詐欺

息子や孫の名前をかたって現金をだまし取る。

よく使われるキーワード

風邪を引いて声が変わった
携帯の番号が変わった



いつもの番号に電話して本人にもう一度確認する。

息子の同僚や友人など、知らない人にはお金を渡さない。

還付金詐欺

戻ってくるお金があるとつい現金を振り込ませる

よく使われるキーワード

税金や医療費を払い戻すATMに行つて



役所の電話番号を調べて確認する。

ATMを操作してお金が戻ってくることは絶対にありません。

架空請求詐欺

架空の費用名目で請求し、現金をだまし取る

よく使われるキーワード

名義を貸してサイト料金が未納



慌てずに家族や警察に相談してください。

宅配便やレターパックでお金を送ることはできません。

防犯対策 1

家族で話し合う

合い言葉を決めておく。電話では、お金の話をしないと決めておく。



防犯対策 2

電話機能で防ぐ

留守番電話や事前警告・通話録音電話機(装置)を活用する。



防犯対策 3

地域で声を掛け合う

周りの人が注意喚起や声かけを行い、被害を未然に防ぐ。



家族の絆、地域の力 ひと声かけて被害ゼロ

ニセ電話
気づかせ隊による
阻止事例

携帯電話で通話しながらATMに向かう高齢者が慌てていたことから声をかけ、「還付金がある」という理由を聞いてニセ電話詐欺と判明。

(小郡市のスーパーにて、阻止者:警備員)

訪問介護中にかかってきた電話で、高齢者が息子の名前を呼んでいたことから電話の内容を確認し、「株で失敗した」などがあつたことからニセ電話詐欺と判明。

(北九州市の被害者宅にて、阻止者:介護士)

高齢者が携帯電話で通話しながらATMを操作していたことから声をかけ、「払戻金がある」という理由なのに振込手続だったのでニセ電話詐欺と判明。

(福岡市のスーパーにて、阻止者:通行人)

高齢者が犯人の指示により喪服姿で「不幸事があつた」と言って定期預金の解約を申し出たが、高額であつたことからニセ電話詐欺と判明。

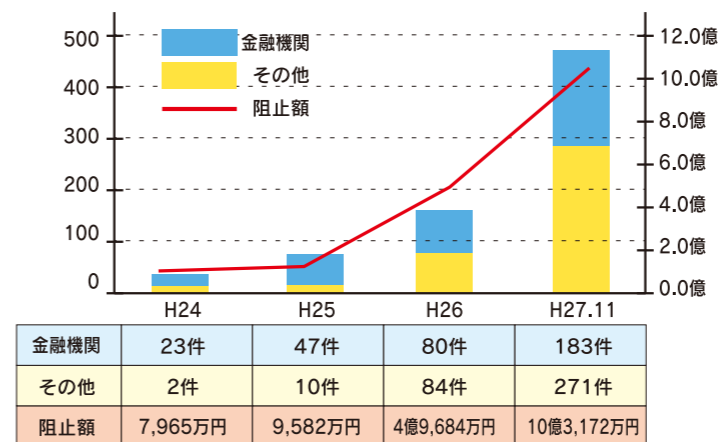
(中間市の銀行にて、阻止者:銀行職員)

高齢者が大量のギフトカードを購入しようとしたことからニセ電話詐欺と判明。

(直方市のコンビニにて、阻止者:コンビニ従業員)



阻止件数の推移



全体の阻止件数が、昨年と比べ、大幅に増加しています。

本年中の阻止件数(11月末累計)

- 金融機関職員……183件
- その他の方……271件

家族、通行人、公務員、コンビニ店員、知人・友人、タクシー運転手、病院職員、配送業者、警備員、介護士など